

## シラバス参照

④ 科目名/Subject	宗教学
④ 曜日・講時・教室/Day/Period/Place	後期 火曜日 2講時 川北キャンパスA404
④ 科目群/Categories	全学教育科目基盤科目-人文科学
④ 単位数/Credit(s)	2
④ 対象学部/Object	2セメ:文系 工農/4セメ:理(地)工農
④ 担当教員(所属) /Instructor (Position)	オリオン クラウタウ 所属:国際文化研究科
④ 開講期/Term	2・4セメスター
④ 科目ナンバリング /Course Numbering	ZFH-RES101J
④ 使用言語 /Language Used in Course	日本語
④ メディア授業科目 /Course of Media Class	

④ 授業題目 /Class Subject	【国際共修】仏教と日本
④ 授業の 目的と概要 /Object and Summary of Class	日本列島の人々は、「宗教」としての「仏教」に直接かわらなくとも、「お釈迦様」や「阿弥陀様」、あるいは「日蓮」や「道元」といった名前は、誰しも耳にしたことがある。ある意味で身近なものではあるものの、「日本仏教」を象徴するような存在たる「聖徳太子」や「親鸞聖人」の行動と思想、そしてその歴史像は如何なる形で今日の我々に伝わったのか、等々のことに触れる機会は少ない。本科目では、近現代の歴史的展開を中心として、「宗教」としての「仏教」の成立に着目しつつ「日本仏教」なるもののイメージ形成を検討していく。
④ 学修の 到達目標 /Goal of Study	近代における「仏教」のイメージ構築という問題の立場から「日本」を再認識し、宗教史的なものの見方を理解していく。
④ 授業内容・ 方法と 進度予定 /Contents and Progress Schedule of the Class	本授業では、担当教員が基本的な事情について講義し、学術論文や映像資料を多用して、「日本人」と「仏教」との関係について考えていく。テキスト読解を踏まえた演習でのディスカッションによって、受講生同士の学び合いも図る。 ① ガイダンス ② 日本の「宗教」を考える——講義 ③ 日本の「宗教」を考える——演習 ④ 「釈迦」という教祖と「仏教」——講義 ⑤ 「釈迦」という教祖と「仏教」——演習 ⑥ 聖徳太子の近代——講義 ⑦ 聖徳太子の近代——演習 ⑧ 空海と密教の近代——講義 ⑨ 空海と密教の近代——演習 ⑩ 日蓮の近代——講義 ⑪ 日蓮の近代——演習 ⑫ 親鸞像の諸問題——講義 ⑬ 親鸞像の諸問題——演習 ⑭ 道元と「Zen」——講義 ⑮ まとめ
④ 成績評価 方法 /Evaluation Method	平常点50点、期末レポート50点。平常点は出席およびディスカッションの内容等に基づいて、算出する。
④ 教科書 および 参考書 /Textbook and References	
④ 関連URL /URL	<a href="https://web.tohoku.ac.jp/modern-japan/">https://web.tohoku.ac.jp/modern-japan/</a>
④ 授業時間外 学修 /Preparation and Review	本科目はアクティブラーニングを取り入れており、教員による講義のみならず、受講生同士のディスカッションを行う「演習」も設けている。「講義」スタイルの授業準備としては基本的に、教員が指定した長編映画の鑑賞が求められ、「演習」のためには指定の学術テキストの読解が求められる(平均週2時間程度)。資料は、グーグルクラスルーム経由で受講生と共有する。
④ 実務・ 実践的授業	

/Practical business ※○は、実務・実践的授業であることを示す。 /Note: "○" Indicates the practical business	
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】 /Students must bring their own computers to class [Yes / No]	「演習」授業の際に、ノートパソコンの持参を求めることもある。
連絡先 (メール アドレス等) ※Emailは@の置き換えに注意 /Contact (Email, etc.)	
その他 /In Addition	外国人留学生等特別課程(日本語)の授業と合同で開講する。アクティブラーニング実施のため、全学教育経由の履修登録者は40名と限定する。
更新日付 /Last Update	2023/01/19 09:27

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験・実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.